

フジイ 機体前方1対の刈刃が回転

自走式ツイン刈払機

来季向けの新商品第1弾

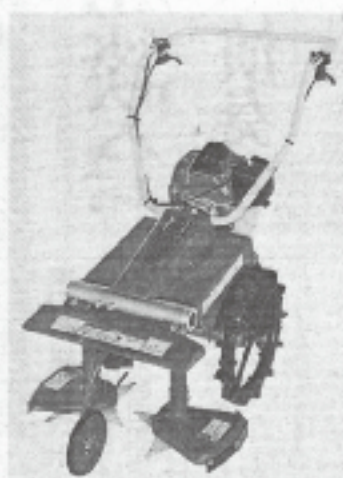
フジイコーポレーションは、このほど来季向け新商品第1弾として、業界初の自走ツイン刈払機「Corta」（コルタMH502M）を発表した。本機は自走することで刈払機の刈り払う作業がなくなり、重労働からの解放、安全性の向上を図ったばかりか、特許出願済みの新機構で低馬力でも高馬力並みの高効率作業が可能になったというのが大きな特長。

フジイコーポレーション＝藤井大介社長、新潟県燕市小池285-1がここのほど発表した自走ツイン刈払機「Corta」。

（コルタMH502M・自走式）



低馬力でも高馬力なみの高効率作業



自走ツイン刈払機「コルタ」

安全性の向上を図ったばかりか、特許出願済みの新しい機構を採用したことで、低馬力でも高馬力並みの高効率作業が可能になっている。また、低馬力なことから、重量も軽く、取り回しも楽。少子高齢化にあって、重労働からの解放、安全性の向上が一層求められている「Corta」は、そうしたニーズの求め

にこたえて開発した商品。本機の機構は、機体前方に設置した1対の刈刃が回転し「刈る」「払う」「集める」「排出する」をスムーズに行う。刈り取った草を同時に後方へ排出するため、馬力ロスが少なく低燃費。機体重量は30kgと非常に軽量で刈取部が機体前方にあるため、高齢者や女性も使いやすい。

「これなら間違いない」の感触を得たことが「正式発表を行った」として、同社では「Corta」に力を入れていくことは勿論のこと、乗用草刈機についても、ユーザーの要望を更にとり入れた商品づくりに徹していく方針。

などが概要。
【主な特長】①「安全性」刈取部が前方にある（作業者から、離れている）ため、安全に作業できる。バックカバーや側面カバーが作業者を飛沫物から守る。
②「簡単操作」操作するのは、スロットルレバーとクラッチレバーだけ。スロットルレバーから手を離すと、走行がストップする。
③「軽量・コンパクト」機体重量は30kg。取り回しが楽に行える。ハンドルを折りたためば、運搬や収納時は更にコンパクトになる。
④「楽々メンテナン

ス」動力伝達にベルトを1本も使わない独自構造。ベルトの交換の煩わしさが無い。
フジイコーポレーションは、これまで乗用草刈機の専門メーカーとして、国内はもとより、海外にも販路を拡大、その積極性は各方面から注目されてきた。
しかし、このあと更に草刈機メーカーとしての地歩を固めていくには新商品、それも画期的な商品を開発することが「不可欠」との判断から「Corta」の開発・商品化を図ったもの。

◇
〔仕様〕▽刈幅＝最大500mm▽適応草丈＝500mm▽重量＝30kg▽寸法（全長×全幅×全高）＝1045×540×870mm▽エンジン形式＝空冷2サイクル42・7cc▽同始動方式＝リコイル式▽同最大出力＝1・73ps

針。

▽走行速度＝1・8km/h▽希望小売価格＝16万1700円（税込）▽発売は来春の予定。